

き

輝なんせ鳥取

2008.3
第10号

訪問取材

“おじゃましま～す”



鳥取生協病院



インタビュー女と男

賀露おやじの会 藤田さん・藪田さん



インタビュー女と男

寿町1区町内会長 田中さん

目次

- 「ワーク・ライフ・バランス」 …………… 2
- 平成20年度「輝なんせ鳥取」啓発講座(予定) … 3
- インタビュー女と男
賀露おやじの会 藤田さん・藪田さん … 4
- インタビュー女と男
寿町1区町内会長 田中さん …………… 5
- 訪問取材“おじゃましま～す”
「鳥取生協病院」 …………… 6

ワーク・ライフ・バランス

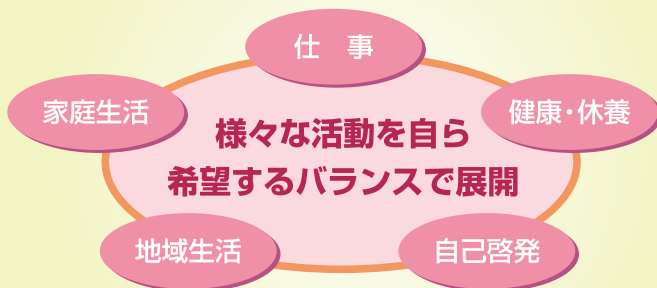
～多様性を尊重して仕事と家庭が好循環を生む社会に向けて～

「ワーク・ライフ・バランス」って何?

「仕事と生活の調和」と訳され、老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態です。

※このことは、「仕事の充実」と「仕事以外の生活の充実」の好循環をもたらし、多様性に富んだ活力ある社会を創出する基盤として極めて重要となります。

ワーク・ライフ・バランスが実現した姿



多様性を尊重した活力のある社会

3つのキーワード

- 男性も女性もあらゆる世代のためのもの
- 人生の段階に応じて自ら希望する「バランス」を決められるもの
- 「仕事の充実」と「仕事以外の充実」の好循環を目指すもの

なぜ今、ワーク・ライフ・バランスが必要か

少子高齢化・人口減少時代を迎え、これまでの働き方では、個人、企業・組織、社会全体が

維持可能できなくなる

個人では

起こっている問題

- ★仕事と家庭の両立が困難
 - ・ライフスタイルや意識の変化
 - ・両立希望に反して仕事中心になる男性
 - ・家庭責任が重く希望する形で働くのが難しい女性
- ★自己啓発や地域活動の参加が困難
- ★長時間労働が心身の健康に悪影響など

社会全体では

起こっている問題

- ★労働力不足の深刻化
- ★生産性の低下・活力の衰退
- ★少子化の急速な進行
- ★地域社会のつながりの希薄化など



個々の企業・組織では

起こっている問題

- ★人材獲得競争の激化など



ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）の実践

希望するバランスの実現

経済社会の活力向上

多様な人材を活かし競争力を強化

平成20年度

「輝なんせ鳥取」^き 啓発講座 (予定)

鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」では、男女共同参画に関する啓発講座を開催しています。平成20年度は以下の通り開催する予定ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。詳細は「市報」や「ホームページ」で案内します。

講座名	開催回数	開催時期 (予定)	講座の内容と目的
できる！男の料理教室 ～生活力を身につけよう！～	4回 (うち2回は 地区公民館で実施)	6月、9月、 12月、2月	男性の料理技術の向上と家事参加を促進し、家庭の中の男女共同参画や、仕事と家庭の両立を促進します。
パソコン講座	3回連続×2講座 ○入門基礎コース ○スキルアップ コース	6月	女性のパソコン技術の習得を支援し、女性の就労、社会参画を支援します。
再就職セミナー	4回連続×1講座	8月	再就職に関するノウハウを学び、女性の就業を支援します。
わくわく男性塾	3回	9月	洗濯・掃除・介護などの基本を学び、また男性にとっての男女共同参画とは何かを学ぶことにより、家庭の中の男女共同参画や、仕事と家庭との両立を促進するとともに、男性の生き方の再発見を促進します。
男女共同参画基礎セミナー	2回	10月	なぜ、いま男女共同参画が必要なのか、国際的な取組の紹介も含めて学習します。
女性のためのパワー アップセミナー	4回連続×1講座	11月	自分自身や日々の生活を見つめ直し、新たな能力の発見・開発を支援します。
いきいき女性塾	4回	1月～2月	女性が抱える体、心の悩みの解決や、法律、会話のコツなどの知識を身に付け、女性がいきいきと生活できるための支援を行います。
仕事と家庭の 両立支援セミナー	1回	11月	企業を対象に実践している事業所を紹介し、仕事と家庭との両立支援体制づくりを推進します。
DV・児童虐待って どんなことなの？	随時	通年	地域に出かけて、DV、児童虐待について説明することにより、理解を深め、DV等の発生を防止し被害者支援を推進します。
市民自主企画イベント	1回	通年	男女共同参画社会実現に向けたイベントを企画・運営する市民団体を募集し、開催することにより、市民団体と行政との協働で男女共同参画を推進します。

ひとひと インタビュー女と男

賀露おやじの会

理事長 藤田 充^{みちる}さん
敷田 道男^{みちる}さん



インタビューの様子（藤田理事長）

“自分たちの生命を継ぐべき次の世代の子どもに何を残してやれるのか” – という命題を掲げて活動しているがNPO（特定非営利活動）法人“賀露おやじの会”である。

1997年賀露小学校の保護者の父親を中心に子供会活動で「科学遊び広場」が開催されたのをきっかけに結成。

大工、造船業、鉄工業、漁業などの様々な職業の会員は、子どもの喜ぶ顔が見たくて地域の企業、団体、自治会、賀露小学校、賀露小学校教育振興会と連携して、毎回遊びを通じた科学実験教室などを開催していた。地域の大学の協力を得ることにより地区外での環境教育や学習活動へと発展した。

2002年NPOとして組織を設立し、地域住民はもちろん志を同じくする多くの人と共に幅広い活動へと発展した。

会員の原風景には、いわゆる口うるさい“おやじ”がいる。叱ってくれるおやじ、心配してくれるおやじ、子どもの頃に出会った、熱い心を持ち蔽として子どもを護るおやじ。

いじめのこと、森林などの自然環境等、今の子どもを取り巻く状況は問題が山積している。“賀露おやじの会”はそれら1つ1つを真剣に楽しく取り組んでいる。1つの例を挙げると2年前に賀露地区で地引き網を復活させたこと。まず、網を探し、漁師を見つけ、漁業権を取得し、スポンサーを探し、今事業として実を結んでいる。

安心して暮らし、安心して働ける地域を築くためには、何をすればよいのか – 全国と手をつなぎ運動は更に広がっている。



インタビューの様子（敷田さん）

“賀露おやじの会”活動の様相



地引き網



山の仕事体験



アルミ缶風車づくり

インタビュー女と男

寿町1区町内会長 田中 允子さん

寿町1区町内会（82世帯/228人）の町内会長になられて4年目の田中さん。

“心の通い合う” “笑顔が広がる” “安心して過ごせる” 町内を目指してがんばっておられます。

町内の方からは「話しやすくなった」「気軽に何でも相談できるようになってうれしい」と喜びの声も聞こえるとのこと。！！

町内の仕事は、男だから女だからといった性別にこだわることはなく、「熱意」「人柄」で男女問わず決められ、出来る人が出来ることをするという雰囲気。

こんな雰囲気の下、以前から町内でいろんな役を経験され、4年前に町内会長に推薦された。

役員や周囲の方からも「女性の会長には抵抗がなかった。男性とは違って細やかな部分に気がつく。」との声が聞こえてくる。

町内清掃のとき、「自らハンドマイクを握り町内を駆け巡り声をかけている」と笑顔で話された。

田中さんは「みんなに支えられてうれしい。町内の方の気持ちを裏切らないように自分を高めていき、様々な取り組みを続けていきたい」と話し、意欲的に取り組んでおられる情熱が伝わってきた。



田中さん（写真左）との取材の様子

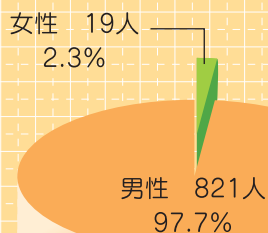
取材をして（編集員・出村）

この度のインタビューは町内会長さんが女性でありビックリしました。男女共同参画にふさわしい人選の仕方に感銘を受けました。

この様に鳥取市全域へ男女共同参画が広がる事を願うものです。

データで見る 地域の男女共同参画

～鳥取県男女共同参画マップ（鳥取県男女共同参画推進課発行）より～



鳥取市での自治会役員（会長・副会長）における女性の参画状況（平成19年4月1日現在）は、**840人中 女性19人（2.3%）・男性821人（97.7%）**となっています。

住民の最も身近な地域社会である自治会は、まちづくりや教育など生活と密接に関連しています。地域社会から男女共同参画を考えてみませんか。

今回は“鳥取生協病院”を訪問しました

竹内 勤 病院長に 新病院について お話をうかがいました



竹内病院長への
インタビューの様子

開設までには土地探し、施設の設計、資金確保など苦労はあったが、5年間の苦労が実り平成20年3月にオープン運びになった。

災害にも強い免震構造で、非常時でも救命にあたるようになっている。

新病院は、市の中心である街中で医療するという事で、地域の方に安心感を持ってもらえるようにしたい。また、救急医療やリハビリ医療により力を入れて取り組んでいきたい。

新たな緩和ケア病棟では、天然温泉を引いた足湯などを設け、施設面でも充実させたので、ガンなどにかかった人の体や心のケアにも力を注ぎたい。

医師不足や医療費の問題など今後医療の現場は大変な状況にあるが、地域になくてはならない病院として、職員一同がんばっていききたい。

鳥取医療生協組織部長 岩永 安子さんに お話をうかがいました

生協病院の事務局に就職され30年…。

3人の子育てをしていた当時は育児休暇制度がなかったため、保育園に子供を預けたりするのが大変だったが、互いの両親、そして職場の協力や理解があり勤務し続けることができ、現在に至ると振り返られた。

現在、職場のお茶入れや掃除などは、当番制としている。だから、自分のお茶入れや掃除も性別や役職にかかわらず当番がする。そんな、男女共同参画を当然のこととして取り入れている職場であると語る。

当病院の職員は看護師に女性が多いこともあって大半は女性という。そのなかで、現在女性の事務系管理職3人のうちの1人である。

「おもしろく、やりがいのある(形に残る)仕事ができます。この様な仕事が出来て光栄です。」と満面の笑みで語られました。

これからの抱負として、「新しい病院を拠点にして、今まで以上に地域に関わっていききたい。」男だから女だからということではなく、みんなが平等であるとの言葉に、“まさにそのとおり!”と感じられるインタビューでした。



岩永さんへの
インタビューの様子

編集後記

寿町1区の町内会長田中さん、生協病院の岩永さんいずれも男女共同参画に相応しい町内、あるいは職場であることに感動しました。また、竹内病院長、おやじの会の藤田さん・藪田さんそれぞれの角度で意欲に燃えている姿にすばらしい!の一言に尽きます。

この度のインタビューを終えて、みな清々しい気持ちの方で私の気持ちまで明るくなりました。(出村)

賀露おやじの会の取り組みは私の想像を越えていた。「未来へ」という視座から物事を見ていける心の豊かさに感動!! (岸本)

輝なんせ鳥取

鳥取市男女共同参画センター

〒680-0022 鳥取県鳥取市西町2丁目311番地
TEL (0857) 24-2704 FAX (0857) 20-3054
E-mail danjyo@city.tottori.tottori.jp
URL <http://www.city.tottori.tottori.jp/>

※鳥取市男女共同参画センター：愛称「輝(き)なんせ鳥取」
学習や交流、情報交換など男女共同参画社会の実現を目指した拠点です。
愛称の「きなんせ」とは、だれでも気軽に集い、学び、女性も男性も共に自分らしくいきいきと輝ける社会(男女共同参画社会)の実現を願って名付けられました。